



☆☆☆令和7年度 沼津視覚特別支援学校☆☆☆

ろくせい 六星だより

第1号 R7.7.7

学校教育目標 『自立する人を育てる』

- 【自立する人とは】
- ・《知》豊かな感性と考えをもつ人
 - ・《心》他者と自分を愛する人
 - ・《体》健康な体を保つ人
 - ・逞しく自らの未来を切り拓く人
 - ・必要な支援を依頼でき、それに感謝できる人

『楽しい学校』

校長 田淵 尚子



令和7年度は、幼稚部に転入生が1名。そして小学部に1名、中学部に2名、高等部（本科保健医療科）に1名の入学生を迎え、全校で26名が在籍しています。

さて、今年の中学部生徒会は目標を『楽しい学校』と決めて活動中です。

『楽しい学校』と聞いたとき、「幼稚部の方にも高等部の方にも、わかりやすく明るい気持ちになる、いい目標だなあ。」と思いました。そして『楽しい』という言葉には、学校のいろいろな場面があるのだろうと考えました。

友達とのおしゃべりが楽しい、みんなでやるフロアバレーボールが楽しい、新しい勉強が楽しい、音楽で歌を歌うのが楽しい、友達を笑わせるのが楽しい、練習したらできるようになったことが楽しい…。学校だからこそできる『楽しい』が無量大だ、と思いました。

6月7日に全校の運動会「六星スポーツDAY」がありました。幼児児童生徒一人一人が自分の目標をもって練習を重ね、跳び箱を成功させたり縄跳び2重回し連続跳びに挑戦したりしました。全校での競技では、チームで手をつなぎ仲良くゲームを行いました。多くの観客の前で仲間と取り組んだ運動会は、楽しい気持ちになったことと思います。見ている人たちの気持ちも楽しくさわやかになりました。

これからの学校生活でも、やる気をもって一所懸命にやる、仲間と仲良く取り組む、新しいことにも挑戦してみる、そんな取り組みが『楽しい』をたくさん増やしてくれそうです。

今、中学部生徒会役員の生徒たちは、昼休みに学校放送で全校から募ったメッセージを紹介してくれています。学部をつなぐ楽しい放送のように、今年度も幼児児童生徒、保護者・保証人、教職員にとっても『楽しい学校』になるよう、みんなで取り組んでいこうと思います。

☆学校の様子をホームページやFacebookで紹介していますのでご覧ください。



沼津視覚特別支援学校ホームページ



沼津視覚特別支援学校Facebook



PTAコーナー

今年度は、転入生を幼稚部に1人、新入生を小学部に1人、中学部に2人、高等部に1人迎えました。
これからよろしくお願いします！



新入生、転入生の入学、転入後の様子を聞いてみました。

4月から別の園で並行通園させていただき、なかなか日数出席できませんが、先生方や生徒さんがいつも暖かく迎えてくださり、緊張気味の息子もすぐににこにこ笑顔で園生活を送ることができています。こちらの学校の給食も大好きで、楽しみの一つです。(幼稚部)

慣れ親しんだ校舎ということもあり、毎日楽しそうに学校に行っています。話してくれる内容が国語や算数の話になり、小学生になったのだなあと成長をうれしく思います。大好きなお友達や先生に囲まれ、のびのびといろいろなことに挑戦する6年間を過ごしてほしいです。(小学部)

地元の小学校を卒業し、こちらの中学部に入学させていただき2か月が経ちました。日常の生活が今までとはがらりと変わって戸惑うことも多々あったと思いますが、先生方の温かいサポートで今は充実した日々を送り、学んだことなども話してくれるようになりました。この出会いに感謝し学校生活が遅れるよう願っています。(中学部)



中学部になり、3か月が経とうとしています。6月に父親が転勤で帰国し、これまで何度か転勤はありましたが、幸いにも転校せずに中学部まで進級する事ができました。

初めての同級生、憧れの先輩、優しく接してくれる先輩がいる中学部に期待に胸を膨らませ、毎日ワクワクした気持ちで学校に通っています。新しく始まった作業学習やフロアバレーボールの話をする時には、キラキラと目を輝かせて一生懸命に話をしてくれます。これから始まる3年間、挑戦することから生まれる前進を大切にして、「あれをやってみよう」「これもやってみよう」と、いつも前向きで、ちょっぴり欲張りな自分であってほしいと思います。(中学部)

入学して3か月が経ちました。入学当初は、身体の部位などの慣れない単語に戸惑い、実技にも戸惑っていましたが、先輩方や先生方からポイントなど教えていただきながら、少しずつ学校生活にも学習にも慣れてきました。国家試験において、これからもしっかり勉強し、スキルも身に付けたいと思います。
(高等部 本科保健医療科)



これからも「出会い」を大切に、「楽しく」「目標に向けて」「挑戦」していきましょう！

学校紹介コーナー

各学部の最近の様子をお知らせします。

新学年が始まって3カ月が過ぎ、笑顔があふれる毎日が輝いています。



小学部



給食作り隊を行いました。この数年、枝豆を枝からとる活動を計画していたのですが、枝付きの枝豆がなかなか入荷せず、ほかの食材に変更になり枝豆は実施できなっていました。今年度は無事に枝付きが入荷し、はさみを使って切ったり、手で千切ったりして、枝から外しました。豆の香りで部屋がいっぱいになるほど、集中して作業をしていました。

枝豆は翌日の給食で提供されました。少し小ぶりでしたがおいしい枝豆でした。この夏、家庭で機会がありましたら、枝付き枝豆の調理を一緒に楽しめるとよいですね。

中学部



中学部高等部合同チームで、5月17日「東海地区盲学校親善球技大会」、5月31日「東海地区盲学校第26回フロアバレーボール大会」に参加しました。大会では、東海地区の盲学校、視覚支援学校とフロアバレーボールで対戦しました。今年初めて大会に参加する生徒もいましたが、キャプテンを中心に声を掛け合い、最後まであきらめずに戦うことができました。大会が終わっても、昼休みにフロアバレーを楽しむ姿が見られます。試合には惜しくも負けてしまいましたが、生徒たちにとって大会への出場は貴重な経験になりました。



高等部



本校高等部は、成人で視覚障害のある方たちが通ってきています。3年間で高等学校の学習と、保健理療（あん摩マッサージ指圧師）の専門科目・技術を学びます。あん摩マッサージ指圧師の国家試験に合格し資格を取得すると、様々な社会参加の可能性が広がります。

今年度、本校高等部では、4人の生徒が在籍しています。年齢も眼の見え方も、本校入学にいたるまでの経緯も皆さん異なりますが、国家試験合格という共通の目標に向けて、学習に励んでいます。



6月7日、六星スポーツ Day を開催しました。幼稚部から高等部までの全員が一緒に取り組む運動会です。今年度は、徒競走やフロアバレーボール等の種目の他に、自分の得意なことやできるようになったことの発表も行いました。マットや跳び箱運動、ボール運動、縄跳び等の中から、一人一つ発表することを決め、当日までに難易度や完成度を上げようと、何度も繰り返し練習する姿が見られました。そして、当日は一緒に頑張ってきた仲間や応援に来てくれたご家族、地域の方たちの前でその成果を存分に発揮し、一人一人が輝く発表となりました。

六星スポーツデイ

